

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立林野高等学校		
実践者等	佐々木 春奈	実践日	令和3年6月10日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	書道 I		
対象生徒 (学年等)	普通科1年次生		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	九成宮醴泉銘		
使用したアプリ等	Classroom、スライド、カメラ		
実践の概要 (ねらい等)	古典の字形「清泉」と自分の作品をカメラで撮り、Google スライドに並べて比較。Classroomに事前準備した動画によりポイントを理解してから清書を行う。		
実践の内容			
<p>(1) 前時の振り返り</p> <p>(2) 九成宮醴泉銘について説明</p> <p>(3) 字形分析 プrintの字形「清泉」の特徴を分析した書き込みを行い、その写真をスライドに提示し、視点が同じ部分や1人だけ気付いた部分などをクラスで共有する。</p> <p>(4) 臨書</p> <p>(5) 中間自己分析(できていると部分とできていない部分を自分で確認。) 自分の作品の写真を撮り、できている部分は青色で、次の清書で改善したい部分(3カ所)は赤色で書き込みをする。 その後、スライドに提示し、周りの人の進行状況の確認や、できている人に尋ねるなどの時間をとる。 また、Classroomに配信された「はらい」「はね」などの部分動画を視聴し、個人でも運筆を確認させる。</p> <p>(6) 清書</p> <p>【実践者の振り返り】 スライドを共有して確認することで、様々な視点に気付くことに繋がった。端末を活用した学習により、個人での学びが可能となり、生徒が自らのペースで作品づくりに取り組めるため、教師による個別支援も効率的に行うことができる。</p>			
参考となる HP 等			

